

## 逆説的私漫画

さく:ハヤシ 文:松野 隆 Vol.11



### マモトの主張

「志モンスター」の大阪・マモトがいま伝えたいこと。

ええ……なんやろ……  
心に火を灯せ。  
火は、ファイヤーの火です。



インタビュー MVP受賞&CCN広告賞受賞の大阪オフィスリーダーの虎上氏。

## ただストイックに 自分のスタイルを貫いた。

月に一度行われる  
パラドックスの社内表彰にて、  
4月度MVPを受賞した虎上さん。  
さらに！CCN賞という広告賞で  
特別審査員賞も受賞されました。  
そんな波に乗っている虎上さんに  
今のお気持ちや今後の抱負、  
そして虎上さんのコピー論にいたるまで、  
大阪オフィスに伺って取材をしてきました！  
取材・執筆は東京オフィスの松永が担当です。



受賞お祝い  
企画！

——受賞された今の率直なお気持ちをお聞かせ  
ください！

虎上) もともと「今年はTCC賞をとりたいて気持  
ちがあって、2月の半ばくらいに別のクライア  
ントで用意していたポスターを先輩に見てもら  
ったら、全然ダメとご指摘をいただいて(笑)。そ  
こから急遽、締め切りの4日前くらいでしたか  
ね、イチからコピーを考え直しました。ちょ  
うど、大阪メンバーが「LOUNGEにどんな価値  
があるのか、学生たちに全然伝わっていない」と  
いう悩みを抱えていたこともあって、自分も同  
じ思いを持っていたので、LOUNGEでやってみ  
ようということになり。そこからは、毎日0時  
くらいから書きはじめて、

真夜中に、TCC会員の西岡さん、田島さん、久  
保さんに「こんなのどうですか」って、送りつ  
けて見てもらって(笑)。3人も、親身になっ  
て相談のしてくれました。本当に感謝してま  
す。

——そんな急ピッチでの作業だったんですね！  
土壇場の力というか、すごいです。

虎上) 去年8月にLOUNGEがオープンして、それ  
からずっと、その価値について考えてきまし  
たから。切り口というか、コピーのタネにな  
るものはたくさんありました。前職も含め、10  
年以上ずっと採用畑でコピーを書いてきたも  
大きかったと思います。10年分の蓄積が、自  
分の中にあっただ、という感じで

——これからの抱負について、お聞かせいた  
できますか？

虎上) コピーを書く時に一番大事にしているこ  
とは、「そこに提案があるか」ということ。その  
コピーが生まれたことで、何かひとつでも世  
界が変わったとしたら、それってやっぱりコ  
ピーを書く醍醐味やと思うんですよね。今年、  
TCCはダメだったんです。ぶっちゃけ1次は  
いけると思ってたところもあったので、ショ  
ックでした。でも賞をとったコピーを見て、  
自分もまだまだやな、とあらためて思いま  
したし、次はゴリゴリに狙いに行こうと思っ  
てます(笑)。

## 大阪のメンバーたちによる/ 虎上さんが言った 忘れられない言葉

パンツ一丁なのは、  
風呂入る直前に  
思いついたから

オモロイ企画を思いついたら、深夜でパンツ  
一丁でもLINEをくれます。すごく楽しい。  
冷静だけど実は狂気じみた本性。(寺内)

俺、今までお客さんから  
クレームうけたこと  
ないから

虎上さんは、企画書やお見積り、メール  
全てを一字ずつ文字校正しています。昔  
段からの基本の徹底が、お客様からの信頼  
につながり仕事が広がる理由だと教えて  
いただきました。(杉田)

志ジャンキー

20年以上生きてきて初めて出会った言葉で  
した。改めて虎さんの「言葉選びの鋭さ、ユー  
モア、興行き、響きを認識する機会となり  
ました。脱帽です。(真本)

リョウヘイ  
100%  
やろうかな

先輩の送別会用のムービーを撮影して  
いたときボロッといった一言。最終的  
には、別の案になりましたが、先輩の  
門出を祝うためには、全裸でも率先  
してやるという、虎上さんの、「漢」を  
感じました。(梅原)

これで名刺に  
コピーライターって  
入れられる。

広告コピーの賞を受賞しないと「コピーライ  
ター」と名刺に入れられないパラドックス。  
CCN受賞を祝福していた時に、虎上さんが  
ぼろっとこぼした言葉です。(渡邊)

もちろん、前職にいた若かった頃には、えらい  
失敗もしたり、ストレスで心電図をつけたまま  
会社に行ったり、夜中に叫んでしまったりとい  
うこともありましたが(笑)。ですが、なんだか  
うまくいかないなということは、当たり前にあ  
ることだと思えば、だったらそこの試行錯誤を  
楽しんでしまうことにしてかれこれ何十年。な  
ので、振り返ってみると「暗かったトンネル」  
はなかったようにも思います。

我が人生に、  
トンネルなしッ！

中堅社員が綴る暗黒時代。  
そして、光が見えた瞬間。



第11回

布施太郎

(一話完結編)

# パラドックスさんと似ていると思うのは、「モノづくり」が最優先のところ。

多くのパラドックスのメンバーたちが、パートナーとしていつもお仕事をご依頼している、ニンニドットコムさんの千駄ヶ谷オフィスへ。通称「ニンニン」さんはウェブ会社として、いつもパラドックスがお世話になってます。今回は、おなじみの早川さんにお話を伺いし、パラドックスとの仕事についてや、知られざるプライベートのお話も聞きました。



小学校の時に野球の監督から「恥ずかしがり屋だけど目立ちたがり屋」と言われていた早川さん。渾身の力道山のモノマネ。

## ---パラドックスとのお付き合いのはじまりは？

早川) ぼく自身が初めてパラドックスさんと仕事したのは何年前だったか……5年くらい前……2012年だったと思います。

---早川さんはパラドックスとお仕事される機会が多いと思いますが、どんな会社だと感じていますか？

早川) 「いいものをつくる」という仕事へのスタンスが似ていると思います。モノづくりの仕事は、どうしても納期や制約が多いことありますが、それを言い訳にしないで「質」を追求する考え方はうちの会社と近いと思っています。

---パラドックスのメンバーはどんな印象でしょうか？

早川) みんな苦勞を明るく乗り切っていく印象がありますね。

---何名くらいとお仕事されているんですか？

早川) 15人くらいだと思います。パラドックスさんのホームページに出てくる社員さんの写真を見たら、だいたい知っている人です(笑)。大阪や福岡のオフィスの方もけっこう知っています。けれど、良い意味で、親密になりすぎないようにしようと考えています。お互いにいいモノをつくるという目的のもと、仲が良すぎることでお互いの意見が言えないのはよくないと思うので。

## 「こういうやり方もあるのか」という気づき。

---なるほど……親しき中にも礼儀あり、ですね。パラドックスとの仕事を通じて、何か発見などありましたか？

早川) 「ウェブサイトはこういうものだ」という自分なりの考え方があったんですが、「こういうやり方もあるのか」と気づかされることがあります。たとえば、パラドックスさんはもともとグラフィック(紙媒体)に強い会社です。ところが、自分たちは「ウエ



ブ上でデザインのつくりやすさ」や「プログラムの構築ありき」で考えてしまうことがあります。だから、パラドックスさんの表現を見て、「このデザインは自分では思いつかなかったな」という学びを得られることがあります。

---ありがたいお言葉です……今後、パラドックスとの仕事をする上で挑戦してみたいことなどありますか？

早川) 今までにはつくるものが決まっていて、「このデザインでウェブサイトをつくっていただけませんか？」というご依頼が大半でしたが、最近お声がけいただいた案件では企画の段階から参加させていただき、案件を進めることができました。企画からの案件の方がやりがいもおもしろみもあるので、そういった案件を増やしていけたらうれしいですね。

## 眉毛を整えたら急にモテはじめた高校時代。

---ぜひ、こちらこそお願いしたいです！ところで、いきなりプライベートなお話なのですが……早川さんの家族構成は？

早川) 両親と二つ下の妹がいます。

---長男なんですね。だから、しっかり者なんですね。

早川) いえいえ、まったくです(笑)。小さい頃からお調子者です。ぼくは自由に生きてきて、真面目な妹に迷惑をかけてきたと思います。小学校でも「あの早川の妹か」と目をつけられていたみたいで(笑)。

---そうなんですね(笑)。小学生の頃はどんな少年だったのでしょうか？

早川) 小学生から野球をやっていたんですけど、当時の監督に「恥ずかしがり屋だけど目立ちたがり屋」と言われました。

---おもしろいです(笑)。目立ちたがり屋ということは、人気者だったのでしょうか？

早川) 小学生の最後に卒業文集をもらいますよね。その文集の最後の方にあるアンケート結果では「面白い人ランキング1位」でした。

---小学生の時って「おもしろい人」と「運動のできる子」がモテますよね。早川さんも……？

早川) 小学生の頃はそれなりにモテたほうかもしれないです。背も一番大きくて、足も一番早かったの。

---背が高い。足が速い。野球やってる。面白い。完璧じゃないですが。

早川) ただ中学生になると全くモテなかったんですよ。女子を過剰に意識しすぎました(笑)。女子を目の前にすると緊張しすぎてしゃべれなくなっちゃったんですよ。

---それはそれは……(笑)。初恋はいつなんでしょう。

早川) 高校生の時です。中学生の時に一切モテなかったこともあって、高校に入る時に先輩に相談したんです。「どうしたらモテますか？」って。そしたら「眉毛を整えようがいい」って言われて(笑)。

---「モテたいなら眉毛をいじれ」と(笑)。

早川) はい(笑)。それで、高校の入学前に眉毛を整えてみたんです。すると、入学してすぐに、ぼくがかわいいなと思っていた女の子がぼくのことをかっこいいと言ってくれたんですよ。

---す、すごい！眉毛パワー……！

早川) けど、付き合ってから一週間で彼女からやっぱなしにしてくれて言われました。理由を聞くと「昔好きな人に会ったから」って言われて……デートも1回もしていませんでした。ただ、一週間しか経っていませんでした。そんなヘコみませんでした。むしろ、「彼女ができた」という手応えをつかみました。

---じゃあ、高校生の早川少年はモテモテですか？

早川) 高校生の時は人生で一番モテたかもしれません。野球部だった、というのが大きいかもしれませんが、ところが、中学生の時にモテなかったこともあって、調子に乗って不義理をしてしまったこともあって……最後のほうは女子たちに嫌われてしまいましたね……その時の彼女を思い出すと今でも申し訳ない気持ちになります。そのかわり、じゃないですが、高校を卒業してからはそういう不義理は一切なくなりました。

## パラドックスの目の前でポルシェ納車。

---話はかわって、休日は何をされていますか？

早川) ほとんど仕事をしているんですが……たまに奥さんを連れて夜にドライブに行ったり、ディナーに行ったりします。そうだ、ドライブが好きですね、ぼく。もともと車に興味はなかったんですけど、2

年前に「ビートル」という車を買って、それからドライブが趣味になりました。毎週どこかへドライブに行っています。

---ビートルいいですね。どういったところに行かれるんですか？

早川) 歩いて10分の歯医者とか行きます(笑)。それくらい車に乗りたいんです。あ、実は今やりたいことがあってですね。表参道のパラドックスさんの向かいにあるポルシェで車を買いたいんです。納車の時にパラドックスのみなさんに集まってもらって、拍手してもらいたいです(笑)。絶対パラドックスさんの前のポルシェで買いたいです。

---ぜひ、お祝いに向かいます(笑)。では、本日はお忙しいところお時間をいただき、誠にありがとうございました！これからもよろしくお祈りいたします！

早川) こちらこそ、わざわざお越しいただきありがとうございました！



◀本邦初公開。早川さんのデスク。



◀「仮眠」を上演してくれました……。